

# 物価が上がっているけど、 消費者の私たちは どうしたらいいの？



## はじめに

消費者庁は、消費者の皆様が安心して豊かな消費生活を送れるようにするために取り組んでいます。

そんな私たちが今、強く懸念し、払拭したいのが、現下の物価の上昇による皆様の不安感です。

1990年代終わりから日本は、長らく物価は上昇していませんでした。しかし、2022年頃から物価が上昇してきました。新型コロナウイルスの感染拡大によりモノやサービスの提供が滞ったことや、ロシアによるウクライナ侵略により日本が輸入するモノの国際的な相場が大きく上昇したことなどによります。

これに対して、政府としても、いくつかの政策を実施してきました。しかしながら、この物価上昇の状況を乗り切るためには、消費者の皆様の協力が不可欠です。



## 目指す姿

### バランスの取れた賃上げ&値上げへ

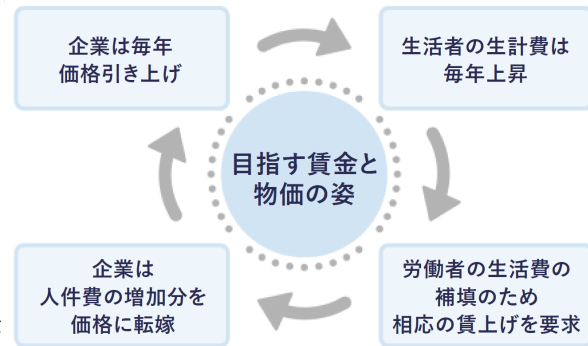
現在の物価上昇は、主に原材料費などの上昇がモノやサービスの価格に上乗せされてきたものです。モノやサービスの価格の引上げは、企業にとっては賃金引上げのための原資にもなります。

物価上昇が巡り巡ると賃金上昇をもたらすと言っていいかもしれません。そして今、物価上昇に対応して賃金を引き上げる動きがみられています。

各企業の視点を超えて日本全体でみても、物価が緩やかに上昇するなかで、企業行動が活発化し、賃金が上昇していくことが望ましい姿です。

2024年3月時点では、賃金の上昇が物価の上昇に追いついていません。しかし、長らく凍結されていた賃金に上昇の機運が生じてきたのは大きな変化と言えます。物価上昇のピンチを賃金上昇につなげるチャンスです！

そして、賃金が上がり、経済が成長し、私たちの生活が豊かになる日本を目指します。



【出典】渡辺努「世界インフレの謎」講談社(2022年10月)をもとに消費者庁が作成

### 1 賃金も物価も上昇するとみんなが理解する



### 2 働く人が賃上げを求めやすくなる



### 3 企業が賃上げ分を価格に上乗せしやすくなる

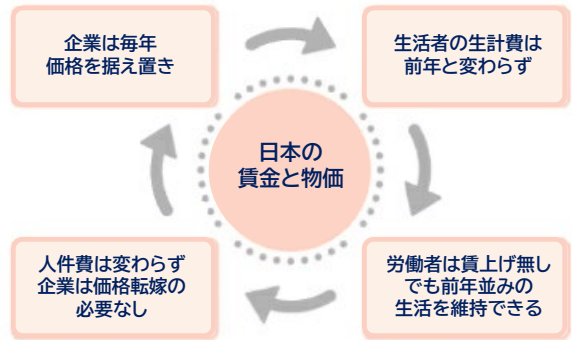


## これまでの日本

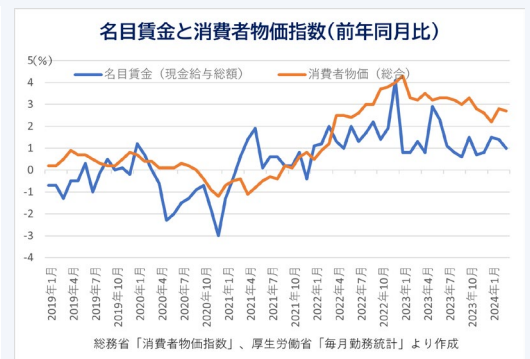
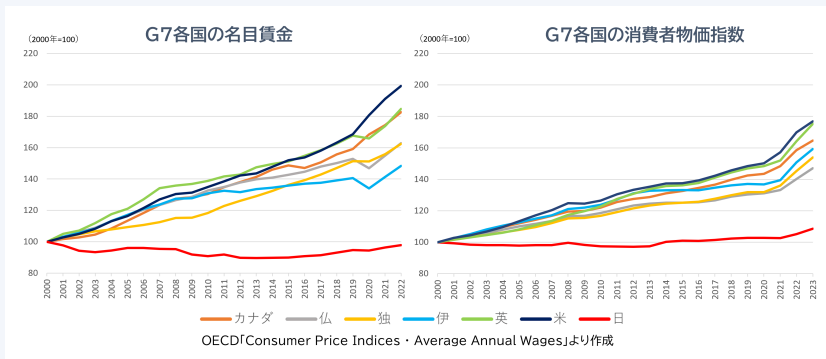
### 賃上げせず&値上げせず

日本では、賃金も物価も上がらない状態が続いていました。モノやサービスの価格を引き上げることが難しく、賃金も低く抑えられてきました。この原因の一つとして、「賃上げせず&値上げせず」の意識が日本の中に根付いたことが考えられます。

しかし、2024年3月時点では物価の上昇に追いついていませんが、賃金の上昇もみられるところであり、物価上昇を更なる賃金上昇につなげるチャンスとも言えます。



【出典】渡辺努「世界インフレの謎」講談社(2022年10月)をもとに消費者庁が作成



## わたしたちにもできること



消費者の立場からも、この機会に物価と賃金の関係について考えてみる



行きつけのお店や推しの商品に値上げがあっても、買って応援する



賃上げを求め、賃上げが実現するよう自分もできることにトライする